

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

過活動膀胱、神経因性膀胱に対するボトックスの膀胱注入の有用性の検討

研究計画

(1)背景・意義

ボトックス治療が過活動膀胱、神経因性膀胱に対して本年より保険適応となり、今後治療が広まっていくことが予想される。患者背景や、排尿に関するアンケートなどの非侵襲的データを用いて投与前と投与後で比較し、有用性を検討する。

(2)目的

過活動膀胱、神経因性膀胱に対するボトックスの膀胱注入の際に、患者背景などからの効果予測因子を明らかにする。

(3)方法

前向きにボトックス治療の有効性を投与前の患者背景、投与前後の IPSS、OABSS などのアンケートを集計し評価、解析する。

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先

東京警察病院 泌尿器科